

## 関東木材資源リサイクル協会令和2年度通常総会用資料

### 最近の木質チップの需給状況

- ①H19～H31 年度入出荷実績表
- ②H30 年度月別入出荷実績表
- ③H31 年度月別入出荷実績表
- ④33 社の H29～H31 年度入荷量比較
- ⑤33 社の H29～H31 年度出荷量比較

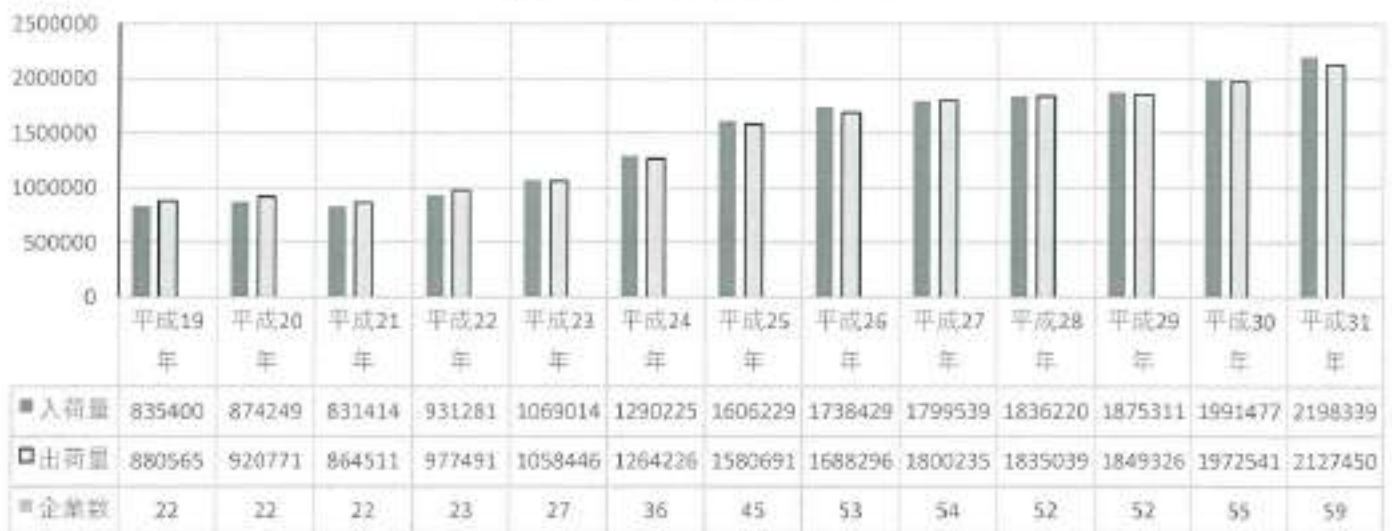
### 令和2年度需給調査アンケート調査結果

- ①処理費について
- ②生木の取扱いについて
- ③材を確保するために
- ④製造原価について
- ⑤物流について
- ⑥品質検査について

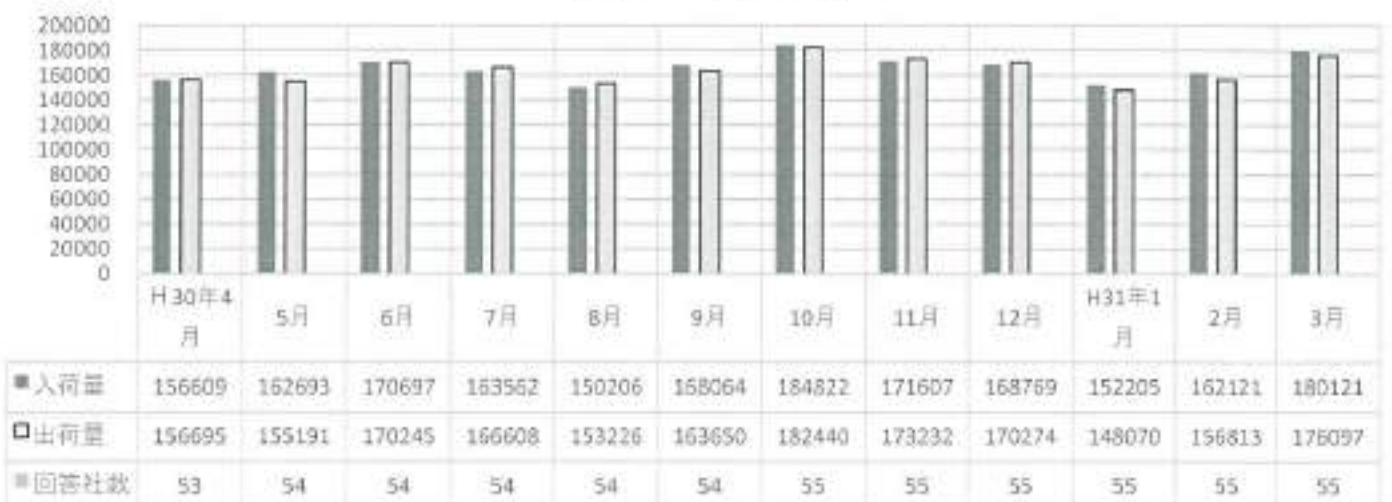
# 最近の木質チップの需給状況

関東木材資源リサイクル協会

## H19～H31年度入出荷実績表（単位：トン）



## H30年度入出荷実績表



## H31年度入出荷実績表

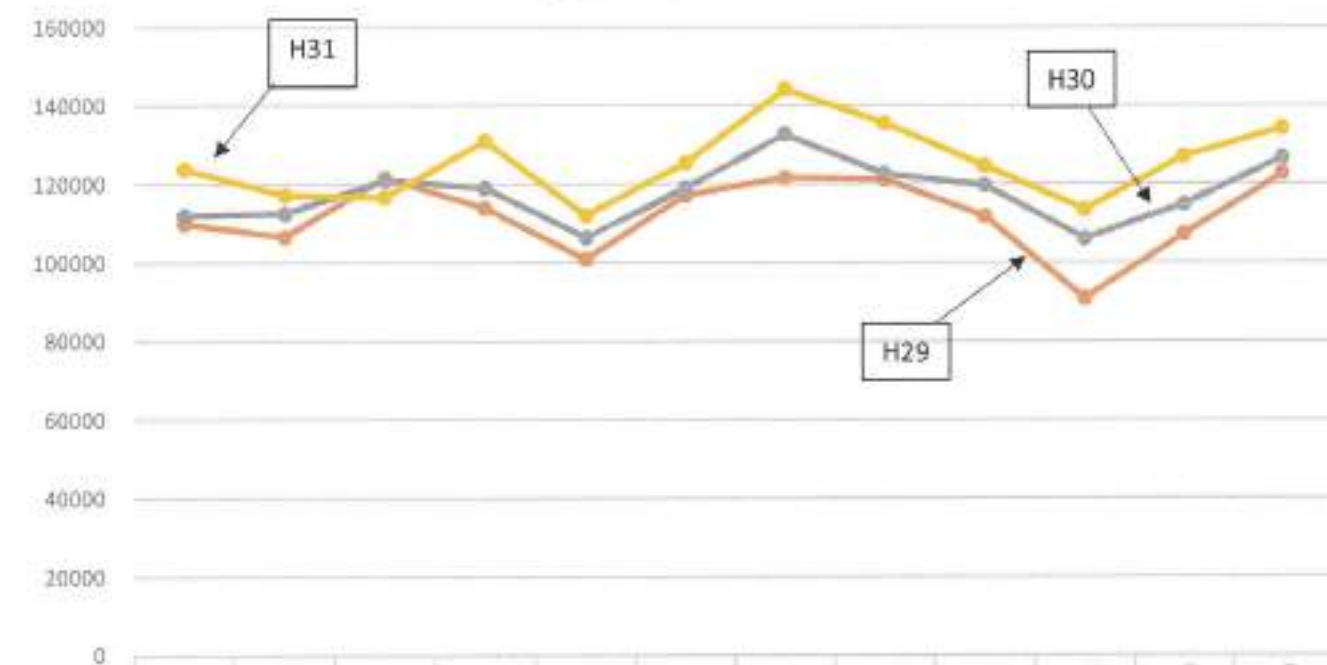


## 木質チップ入出荷量の同数比較

※年度途中の入会・退会をのぞいた同数（33社）で比較

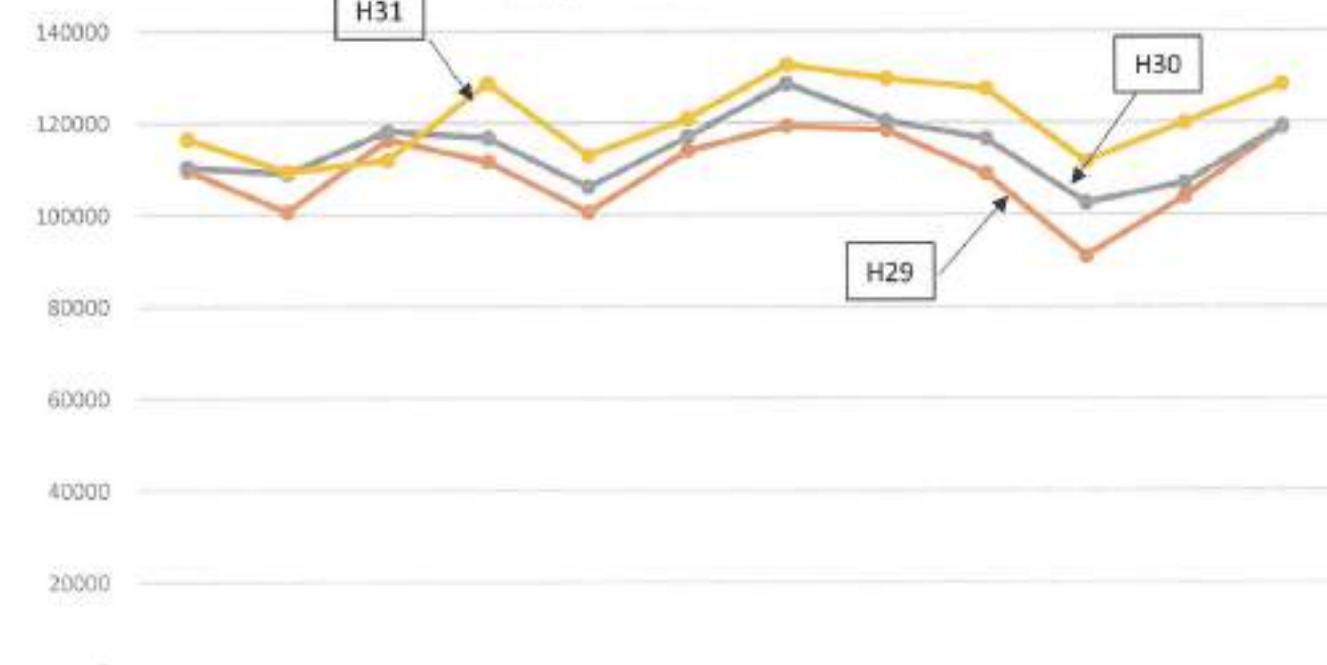
関東木材資源リサイクル協会

### 入荷量比較グラフ



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H 29	109966	106638	121568	113983	100909	117153	121652	121228	111808	90950	107180	122641
H 30	112055	112551	121023	119043	106419	118983	132696	122601	119667	106134	114840	126747
H 31	123926	117261	116704	131047	112157	125415	144149	135486	124634	113501	127031	134231

### 出荷量比較グラフ



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H 29	109709	100629	116423	111614	100620	113893	119325	118378	108878	90999	103853	119002
H 30	110446	108958	118230	116793	106069	116949	128553	120425	116481	102544	106876	119248
H 31	116605	109459	111904	128757	113017	120940	132634	129609	127414	111561	120019	128473

# 令和2年度需給調査アンケート調査結果 43社回答

1. 処理費について(1車単位の受入れ、m<sup>3</sup>受け等がありますが、円/kg に換算した単価)

①処理費推移(入荷比率は全体を100%としたときの内訳)

( )内は前年数値

価格単位は(円/kg)

	価格	H31年4月	R1年9月	現在(社)		価格	H31年4月	R1年9月	現在
	燃料系木くず	~6	2				竹・草類	~14	1
~7		1	2	2	~15	1		1	1
~8		5	5	4	~16	2		3	2
~9					~17				
~10		8	3	4	~18	1		1	1
~11		3	4	3	~19				
~12		4	8	9	~20	2		2	3
~13		5	4	4	~25	6		5	6
~14		1	1	1	~30	2			
~15		3	4	4	~40			2	2
~23		3	4	4	41~	3		3	3
平均(H30)		11.3(11.3)	12.0(11.6)	12.0(11.9)	平均(H30)		27.2(27.6)	27.4(28.2)	31.0(27.7)
柱・角材系木くず	~5	4	3	3	型枠	~5	1	1	
	~6	6	4	2		~6	5	1	2
	~7	2	3	3		~7	2	3	3
	~8	7	6	4		~8	3	4	2
	~9	1	1			~9			
	~10	6	6	9		~10	9	7	8
	~11	3	4	4		~11	2	1	1
	~12	1	2	2		~12	1	6	5
	~13	2	2	3		~13	2	1	3
	~14	1	1	1		~14	1	1	1
15~	3	4	3	15~	3	4	3		
平均(H30)		9.0(9.0)	9.6(9.2)	9.9(9.4)	平均(H30)		9.8(9.2)	10.6(9.5)	10.8(9.7)
パレット・開梱材	~5	4	4	4	その他	~10			
	~6	4	1	1		~20	2	2	2
	~7	2	2	2		~30	2	2	2
	~8	9	9	6		~40	2	2	2
	~9	2	1	2					
	~10	5	5	6					
	~11	2	3	3					
	~12	1	4	4					
	~13	4	4	5					
	~14	1	1	1					
15~	2	2	1						
平均(H30)		9.1(8.8)	9.6(9.0)	9.7(9.2)					
剪定枝等の生木	~10	3	3	2					
	~11	1							
	~12		1	1					
	~13	2	2	3					
	~14	2	2	2					
	~15	5	4	3					
	~16	3	2	2					
	~17	2	1	1					
	~18	4	3	5					
	~19	1	2	1					
	~20	7	8	8					
	~21	1	1	1					
~22									
23~	8	11	11						
平均(H30)		19.6(19.4)	20.1(19.9)	20.5(20.2)					

材の種類による処理量比率  
回答のあった43社の平均 ( )内は前回平均

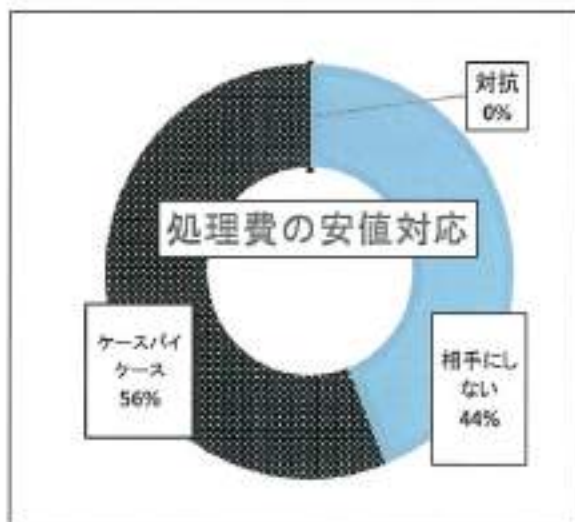
燃料系木くず	43.7(39.8)%
柱・角材系木くず	13.3(17.0)%
パレット・開梱材	11.7(11.0)%
剪定枝等の生木	23.0(22.1)%
竹、草類	2.9(4.7)%
型枠	4.2(3.8)%
その他	1.1(1.8)%

間伐材、剪定枝等の生木の扱いについて、特に最近変化があった場合にその内容を記載してください。

- ・災害系の木くずの増加
- ・台風15号の影響で生木が増えた

②処理費の安値対応に関する質問 複数回答あり ( )内前回数値

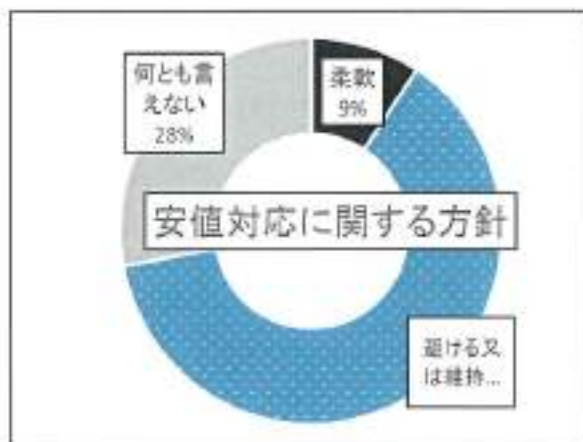
安値攻勢には対抗する。	0(2)
仮に取引を失っても安値攻勢は相手にしない。	18(18)
ケースバイケースで対応せざるを得ない。	23(21)



③最近実施された、あるいは実例として聞いた最安値は？

価格	燃料系
0~1	
~2	
~3	3
~4	4
~5	4
~6	4
~7	
~8	4
~9	
~10	3
11~	3
平均(H30)	6.0(5.0)

(円/kg)		柱・角材系
0~1		2
~2		1
~3		3
~4		5
~5		
~6		5
~7		1
~8		2
~9		
~10		2
~11		1
平均(H30)	4.0(4.0)	

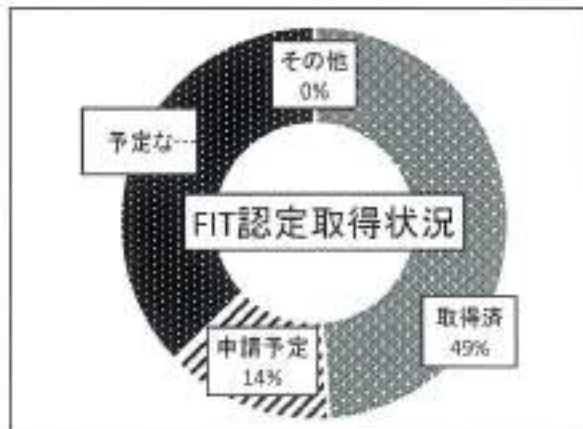


④安値対応に関する将来の対応方針について

価格競争は、経済原則で柔軟に対応する	4(5)
キリがないので価格競争は避ける。又は現行価格を維持する	27(24)
現状では何とも言えない	12(13)

⑤FIT認定の取得状況についてお答え下さい

既に認定を取得している	21(19)
認定申請する予定である (申請中を含む)	6(6)
認定申請の予定はない	16(14)
その他	0(0)



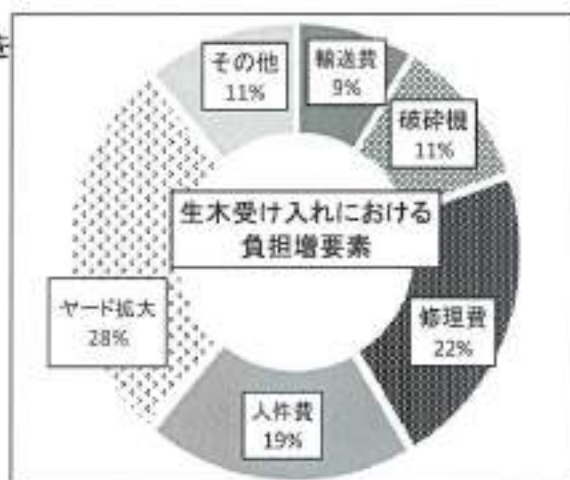
## 2. 生木の取扱について

①間伐材、剪定枝等の生木を受け入れる場合の負担増要素を該当項目にチェックしてください。(複数回答あり)

輸送費の増大	7(8)
破砕機の新増設	9(10)
機械修理費の増加	18(17)
人件費の増加	16(14)
保管ヤードの拡大	23(18)
その他	9(7)

### \*その他

- ・新規許可申請
- ・受入していない
- ・生産性ダウンによるコストアップ
- ・生木入りチップ販売先の確保
- ・当社の取扱いが生木のためのため特になし
- ・現在受け入れており、主要な事業活動なので特になし
- ・常に火災の危険を伴う。出荷先の確保、ダスト出荷先の確保が必要



②生木を処理するための平均的な負担増額はどのくらいになりますか

平均	10.0(10.0)	(円/kg)
----	------------	--------

上記の金額を算定する際の、輸送、チップ販売先等の前提条件。

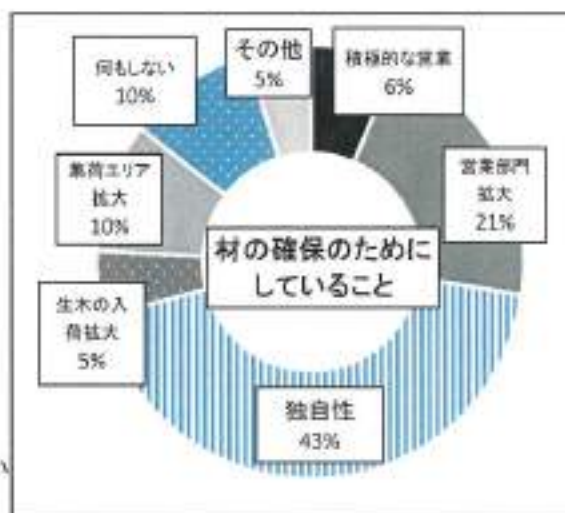
- ・納入場所が50km圏内である事
- ・燃料チップ販売、たい肥化、たい肥販売(運送含む)
- ・チップ販売価格と輸送費の差額 ①売却先単価②距離③製造手順及びヤード管理(人件費含む)
- ・生木チップの運送費 運搬業者による持ち込み時
- ・生木については製品化はせず破砕(チップ)
- ・破砕に特化したハンマー式を採用しているため、生木処理には新工場建築と同様コストが必要など現実的には不可能

## 3. 現在、材を確保するためにどうしていますか。

処理費にかかわらず、積極的に営業をかける	4(2)
営業部門の拡大を図る	13(11)
価格競争には巻き込まれず、独自性をセールスポイントにしている	27(26)
間伐材、剪定枝等の生木の入荷拡大に重点を置いて活動する	3(4)
集荷エリアの拡大	6(6)
全く何もしていない	6(6)
その他	3(4)

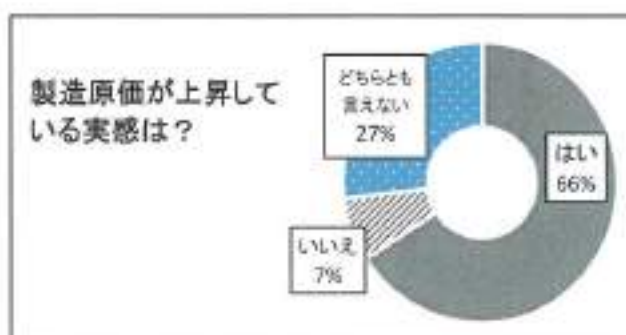
### \*その他

- ・新規顧客の開拓
- ・地域に根付いた集荷
- ・一般廃棄物であるため営業地域に限られるので営業は難しい



## 4. 製造原価が上昇しているとの実感がありますか。

はい	27(29)
いいえ	3(3)
どちらとも言えない	11(8)

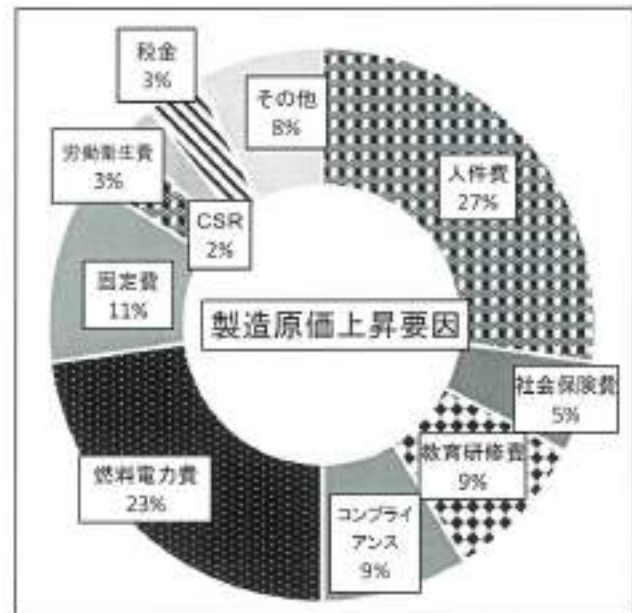


上記項目に「はい」と答えた方に伺います。その要因は何だと思えますか

人件費	25
社会保険費	5
教育・研修費	8
コンプライアンス対応	8
燃料・電力費	21
固定費	25
労働衛生費	5
CSR	8
税金	8
その他	21

**\*その他**

- ・機械の維持費
- ・チップ運搬費
- ・設備消耗修繕・メンテナンス費
- ・チップ品質の向上に対する設備改善費用増加

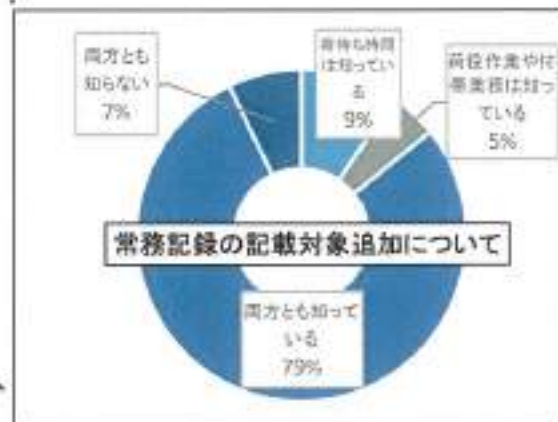


**5. 物流について**

①貨物自動車運送事業輸送安全規則の改正で、「荷主都合による荷待ち時間」「荷役作業や附帯業務」について、乗務記録の記載対象に追加されたことを知っていますか？

荷待ち時間は知っている	4
荷役作業や付帯業務は知って	2
両方とも知っている	33
両方とも知らない	3

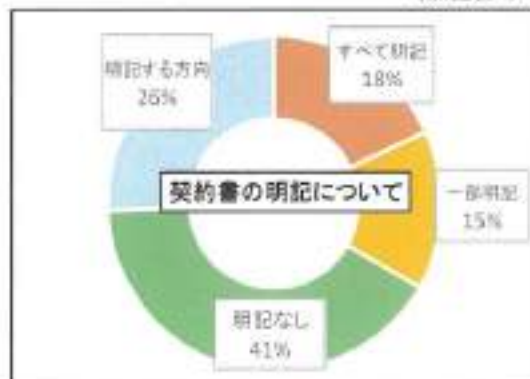
(無回答 1)



②物流会社との契約書に、運送以外の附帯業務の範囲、費用負担等を明記していますか？

すべて明記している	7
一部明記している	6
明記していない	16
明記する方向で検討している	10

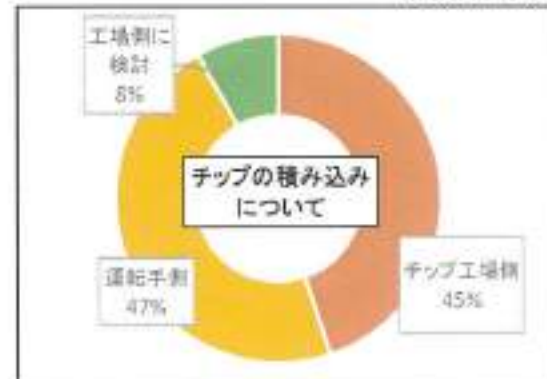
(無回答4)



③製品チップの積み込みはどちらが行っていますか？

チップ工場側	22
運転手側	23
チップ工場側の積み込みを検討している	4

(複数回答あり)



## 6. 品質検査について

①検査している項目について該当する項目に全てチェックを入れてください。  
その頻度については、1年間の回数もご記入ください。

項目	実施会社数	年間平均回数
水分	22	21.8
灰分	17	4.4
窒素	11	4.5
塩分	16	3.9
発熱量	17	4.4
CCA	11	37
硫黄	15	3.9
カドミウム	10	4
鉛	14	3.4
水銀	14	3.4
亜鉛	13	3.5
放射性物質	17	4.5

※その他の回答

- ・車両ごと
- ・不定期
- ・毎回
- ・適時

協会へのご意見などありましたらご記入をお願い致します。

- ・特になし